

2022 年度

ニュージーランド留学報告書

実習先：ニュージーランド国立ワイカト大学

実習期間：2022 年 9 月 18 日～2023 年 1 月 21 日

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21020005
氏名：猪飼真央

目次

1. 留学先及び留学期間	3
2. 留学先概要	3
3. 留学目的	3
4. 留学内容	4.5
4-1. 留学スケジュール	4.5
4-2. 留学の詳細	5
5. 当初目的・目標への達成度	6
6. 反省点・課題	6
7. 謝辞	6

付録

留学日誌と文化について	7.8
-------------	-----

1. 留学先及び実習期間

留学先：ワイカト大学

実習期間：2022年9月18日（日）～2023年1月21日（土）

2. 留学先概要

（1）大学について

ワイカト大学（The University of Waikato College）は1964年に設立され、ニュージーランドの北島の中心地・オークランドから約130km南、ハミルトン市にある国立総合大学である。ワイカト大学の学生数約12000のうち、およそ2000人が留学生で、その出身地は88カ国にも及ぶ国際的な環境が特徴的である。ワイカト大学は様々な研究分野で高い評価を受けている。キャンパス内には、図書館やカフェ、薬局、屋外プールやスポーツジムなどの施設が用意されている。

（2）大学で行われている教育について

ワイカト大学には学内の語学学校（ワイカトカレッジ）にて英語を学ぶことができる。所定のコースを規定の成績で修了すると、ワイカト大学へ進学することができる。これは英語力が大学入学条件に満たない人のためのプログラムであり、日本人以外にも、中国やサウジアラビアの留学生もこのワイカトカレッジで授業を受けている。

3. 留学目的

今回の留学における個人的な目的は、英語力の向上・コミュニケーション能力の向上・異文化理解を深めることである。日本で英語の勉強は文法やリスニング能力の向上が中心であり、CEPの授業もあるがそれだけではスピーキング能力の向上が難しい。完全に英語だけの環境に身を置き英語を使うしかならない状況を作り出すことで、スピーキング力・リスニング力を大幅に向上させることができる。また、ホームステイなので、ニュージーランドの文化をしっかりと肌で感じることを今回の留学の目的とした。

4. 留学内容

以下から留学内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1. 留学スケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日	内容
9	18	到着、ホストファミリーと合流
	19	オリエンテーション、キャンパスツアー
	20	授業開始 (General English)
10	1	Hobbiton Movie Set Tour
	21	General English 終了、ハロウィンパーティー
	25	Academic English オリエンテーション
	26	
	27	
	29	Rainbow's End (遊園地) へ旅行
	31	Academic English 開始
11	29	Writing Test 1
	30	Speaking Test 1
12	1	Listening Test 1
	2	Reading Test 1
	3	オークランドへ旅行
	4	
	17	Christmas & New Year Holiday
1	3	
	4	授業再開
	17	Writing Test 2
	18	Speaking Test 2
	19	Listening Test 2
	20	Reading Test 2、オークランドのホテルへ移動
	21	出国、帰国

時間割

授業は午前と午後に分かれており、休憩は 10:30am からの約 20 分と 14:00pm から約 10 分間ある。

金曜日の午後は授業というよりも、英語を使ったカードゲームなどのレクリエーションが中心だった。

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	9:00 ～ 12:00	Writing, Speaking, Listening, Reading	Writing, Speaking, Listening, Reading	Writing, Speaking, Listening, Reading	Writing, Speaking, Listening, Reading	Writing, Speaking, Listening, Reading
昼休み	12:00 ～ 13:00					
午後	13:00 ～ 15:00	Writing, Speaking, Listening, Reading	Writing, Speaking, Listening, Reading	Writing, Speaking, Listening, Reading	Writing, Speaking, Listening, Reading3	English Class

4 - 2. 留学の詳細

<授業概要>

・ Writing

先生が出すお題に対して何文字以上や、何文以上などの指定が出され、それに沿って書いていた。ライティングをする時間がほぼ毎日あったので、ライティングスキルが向上した。

・ Speaking

毎日授業の初めにペアになって英語で会話をする時間があった。それ以外にも授業の中でもスピーキングの練習がとて多かったのでスピーキング能力が身についた。

・ Listening

毎日教科書の中にあるリスニングの項目を行った。教科書とは別の DVD を使いリスニングの練習も行った。先生がパソコン上に出してくれた練習用のものも使用した。

・ Reading

教科書の中にある長文読解や、図書館から本を借りてきて読む時間があった。パソコン

を使い先生が出してくれる問題を解いたりもした。

5. 当初目的・目標への達成度

この留学において英語力の向上・コミュニケーション能力の向上・異文化を理解することが目的だった。英語力に関して、ニュージーランドに行く前よりもはるかに向上したと実感している。最初は英語を頭の中で日本語に変換してから受け答えをしていたが、月日が経つにつれ英語に慣れていき、英語を日本語に変換しなくても受け答えができるようにまでなった。コミュニケーションについても向上した。ホストファミリーの親戚に会う機会や初めて会う現地の学生とのやり取りを通して向上したと考える。ホストファミリーとの共同生活の中で、現地の文化や礼儀などたくさんのことを学んだ。ニュージーランドは多文化社会であるため、ニュージーランドの文化だけでなく、他の国の文化まで知ることができた。

6. 反省点・課題

ニュージーランドで生活しているうえで最初の方は英語で何と言ったらいいのかわからなかったときに、携帯を使って翻訳に頼ることがしばしばあったので、間違えてもいいからもっと翻訳に頼らなければ良かったと後悔している。間違えることは何も恥ずかしくないのだから、もっと話していけばよかったと感じている。これからはこの気持ちを忘れずに更なる英語力向上を目指していきたい。

7. 謝辞

今回お世話になったホストファミリー方々、ワイカト大学の先生方、コロナウイルスが原因でなかなか留学に行くことができないなか、やっとの思いでこの留学という機会を作り出していただいた新潟国際情報大学の先生方、本当にお世話になりましたことを感謝いたします。また、新潟国際情報大学からの奨学金の授与、本当に有難う御座いました。そして、留学に送り出してくれた両親、兄、支えていただいた全ての方々に心よりお礼申し上げます。この度は誠に有難う御座いました。

付録：留学日誌

<Halloween Party>

みんなでハロウィン用の仮装をして楽しんだ。先生方も本気で仮装をしていて、生徒よりも気合を感じられた。みんなで持ち寄ったお菓子などを食べて盛り上がった。



<Hangi>

先住民族マオリの伝統料理である。地面に大きな穴を掘り加熱した大量の石を敷き、その上に包んだ肉や野菜を入れて4～5時間ほど蒸す。味付けは塩と胡椒だけである。



ニュージーランドの文化について

- ・羊がとても多い
- ・warehouse というディスカウントストアで日用品がほぼ揃う
- ・シャワーの時間は基本的にとっても短く約5分～10分くらい
- ・何か物事を頼むときは Please を言うことがとても重要視されている
- ・日本食レストランが意外と多い
- ・物価が高い
- ・クリスチャンが多い

- ・多文化社会
- ・海が好きな人が多い
- ・優しい人が多い
- ・家庭にもよるが食べ物の味が薄い
(滞在していたホストファミリーの料理はしっかりと味付けがされていた)
- ・18時に締まる店が多い(飲食店とスーパーマーケットを除く)

